

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京福祉専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
社会福祉 専門課程	社会福祉科	夜・通信	2024年度 入学生 145 単位	12 単位	
			2023年度 入学生 145 単位		
			2021～2022年度 入学生 145 単位		
	心理カウンセラー科	夜・通信	2023～2024年度 入学生 169 単位	12 単位	
			2021～2022年度 入学生 157 単位		
	IT 医療ソーシャル ワーカー科	夜・通信	2023年度 入学生 84 単位	12 単位	
			2022年度 入学生 91 単位		
	こども保育科	夜・通信	2024年度 入学生 56 単位	6 単位	
			2023年度 入学生 56 単位		
	作業療法士科	夜・通信	2023～2024年度 入学生 113 単位	9 単位	
2022年度 入学生 95 単位					
介護福祉士科	夜・通信	2024年度 入学生 79 単位	6 単位		
		2023年度 入学生 83 単位			
キャリアデザイン科	夜・通信	2024年度 入学生 4 単位	3 単位		
社会福祉 専門課程	作業療法士科夜間部	夜・通信	2023年度 入学生 113 単位	6 単位	
			2022年度 入学生 95 単位		

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり

掲載:<http://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京福祉専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.jikeigakuen.ac.jp/information>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和6年6月1日～ 令和9年5月31日	地元(江戸川区)の名士として学校と地域の連携を図る。
非常勤	株式会社役員	令和6年6月1日～ 令和9年5月31日	地元(北海道)の名士として学校と地域の連携を図る。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京福祉専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目については、毎年度、教育課程編成委員の意見も考慮に入れ、学科ごとに行う学内会議(カリキュラムプレゼン)で教科課程、授業科目、講義内容を決定し、理事会の承認を得た上で、各授業科目を担当する教員がシラバスを作成する。</p> <p>シラバスの掲載項目「科目名」「必須選択別」「開講区分」「教員名」「学科名」「学年」「授業の方法」「授業の内容」「年間授業の計画」「到達目標」「成績評価の方法・基準」「学習内容(どのような実務経験等のある教員がどのような授業を実施するのか)」、その他について、学内の教員用内規(「シラバス作成のためのハンドブック」)の中で、全学科必須とすることを規定しており、全学科共通のシラバス作成を行っている。</p> <p>【作成時期について】</p> <p>毎年12月～1月で担当教員を決定、2月上旬の講師契約会で依頼、3月下旬に次年度シラバスを公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>HPにて掲載</p> <p><a href="http://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information">http://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information</a></p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)  学則及び学則施行細則で成績評価、履修、卒業要件について規定している。  <b>【学則】</b>  (単位取得の認定、学習の評価)  第12条各科目の成績は授業科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。ただし各科目の評価については別に定める。  2成績評価による学業結果を総合的に判断する指標として、総合平均点(いわゆるGrade Point Average)に相当するもの。以下「GPA」という)を用いる。GPA制度による評価については別に定める。  3出席時間数(学外での現場実習を除く)が規定の授業時間数の10分の7に満たない者については単位の認定をしない。ただし、留学生については、5分の4に満たない者については、単位の認定をしない。  4学外での現場実習の出席時間数が規定の授業時間数の5分の4に満たない者については、当該科目の単位の認定をしない。  5試験の欠席者及び不合格者には再試験を行う。試験の方法は別に定める。  (卒業)  第 27 条本学に修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、卒業するために必要な単位数を修得した者に対し、学校長は卒業判定会議を経て卒業を認定する。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  学則及び学則施行細則において、GPA(Grade Point Average)を導入し、学内の成績評価として使用している。GPAは生徒の履修した1授業科目あたりの平均成績を指す。学業成績は、授業科目ごとに行う試験(定期試験、実技試験等)によって評価する。当校では各授業の評価を100点満点を基準として、60点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100～90をA、89～80をB、79～70をC、69～60をDとして、成績を通知する。各授業の成績評価を既定の数値に置き換え、1授業あたりの平均成績を算出する。各成績はA(4点)、B(3点)、C(2点)、D(1点)に換算する。GPAは(Aの授業数×4+Bの授業数×3+Cの授業数×2+Dの授業数×1)の合計を、各生徒が履修済みの総授業数で除した数値として求めることによって算出する。  成績評価方法については、学則及び学則施行細則を入学時、進級時オリエンテーションにて配布し告知している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>HPにて掲載  <a href="http://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information">http://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information</a></p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では以下のように「ディプロマ・ポリシー」を策定し、HPに公表している。  東京福祉専門学校は、福祉・医療・保育業界で活躍できるマインド(身構え・気構え・心構え)・知識・技術・キャリア開発に対する向上心を持った人材を養成し、社会に送り出します。  卒業までに身につけるべき資質を以下に示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学内における様々な教育プログラムを通じて社会人基礎力が培われており、問題解決思考や主体的に取り組む姿勢を備えている。</li> <li>2. 各分野で必要とされる知識・技能を身につけており、国家資格等を取得することができる。</li> <li>3. 業界の動向や変化に柔軟に対応し、知識・技術面において継続的にキャリア開発をしつづけている。</li> <li>4. 他者や異文化に対する理解を深め、自らの見識と広い視野を備えた国際感覚を身につけている。</li> </ol>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	HPにて掲載 <a href="http://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information">http://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京福祉専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.jikeigakuen.ac.jp/information">https://www.jikeigakuen.ac.jp/information</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.jikeigakuen.ac.jp/information">https://www.jikeigakuen.ac.jp/information</a>
財産目録	<a href="https://www.jikeigakuen.ac.jp/information">https://www.jikeigakuen.ac.jp/information</a>
事業報告書	<a href="https://www.jikeigakuen.ac.jp/information">https://www.jikeigakuen.ac.jp/information</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.jikeigakuen.ac.jp/information">https://www.jikeigakuen.ac.jp/information</a>

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	社会福祉科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	2024年度入学生 156 単位	34 単位	11 単位	単位	単位	単位
		2023年度入学生 156 単位	26 単位	15 単位	1 単位	単位	単位
		2022年度入学生 150 単位	16 単位	14 単位	5 単位	単位	単位
		2021年度入学生 150 単位	6 単位	23 単位	8 単位	単位	単位
		単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
144 人		111 人	0 人	4 人	26 人	30 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業の終わりに5～10分程度で当日の授業の「理解度確認テスト(小テスト)」を実施し、その成績状況によって適宜クラス担任が個別に面談、学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27 人 (100%)	0 人 ( 0%)	26 人 ( 96.3%)	1 人 ( 3.7%)
（主な就職、業界等） 障害者施設、病院、高齢者施設、放課後等デイサービス、スクールソーシャルワーカー			
（就職指導内容） 求人紹介、履歴書指導、面接指導等			



(主な学修成果(資格・検定等)) 社会福祉士受験資格、精神保健福祉士受験資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
133人	13人	9.8%
(中途退学の主な理由) 生活習慣の乱れ、心身の健康不全、家庭の影響		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談、サポートアンケート、カウンセラーによるカウンセリング等		

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	心理カウンセラー科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	2024年度入学生 175 単位	単位 37 単位	単位 13 単位	単位 単位	単位 単位	単位 単位
		2023年度入学生 175 単位	41 単位	14 単位	単位	単位	単位
		2022年度入学生 175 単位	28 単位	11 単位	1 単位	単位	単位
		2021年度入学生 175 単位	単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
144 人	129 人	1 人	4 人	23 人	27 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業の終わりに5～10分程度で当日の授業の「理解度確認テスト(小テスト)」を実施し、その成績状況によって適宜クラス担任が個別に面談、学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25 人 (100%)	0 人 ( 0%)	19 人 ( 76%)	6 人 ( 24%)
（主な就職、業界等） 医療機関・児童心理治療施設・福祉施設等			
（就職指導内容） 求人紹介・履歴書添削・面接練習等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 精神保健福祉士受験資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
121人	9人	7.4%
(中途退学の主な理由) 精神的な理由等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・学科長による面談やカウンセラーによるカウンセリング		

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	IT 医療ソーシャルワーカー科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	2023年度入学生 168 単位	26 単位	15 単位	単位	単位	単位
		2022年度入学生 169 単位	16 単位	15 単位	4 単位	単位	単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
72 人		11 人	0 人	2 人	13 人	15 人	
2022 年度開設 2024 年度募集停止学科のため、2.3 年次のみ在籍							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業の終わりに5～10分程度で当日の授業の「理解度確認テスト(小テスト)」を実施し、その成績状況によって適宜クラス担任が個別に面談、学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(主な就職、業界等) 2022 年度開講の為、前年度実績なし			
(就職指導内容) 2022 年度開講の為、前年度実績なし			

(主な学修成果 (資格・検定等) ) 2022 年度開講の為、前年度実績なし
(備考) (任意記載事項) 2024 年度募集停止

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	1 人	8.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・学科長による面談等		

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	こども保育科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2024年度入学生 69 単位	30 単位	30 単位	6 単位	単位	3 単位
		2023年度入学生 69 単位	30 単位	30 単位	6 単位	単位	3 単位
		単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		112 人	0 人	8 人	23 人	31 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業の終わりに5～10分程度で当日の授業の「理解度確認テスト(小テスト)」を実施し、その成績状況によって適宜クラス担任が個別に面談、学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
55 人 (100%)	0 人 ( 0%)	52 人 ( 94.5%)	3 人 ( 5.5%)
（主な就職、業界等） 保育園、幼稚園、福祉施設			
（就職指導内容） 個別面談、求人紹介や履歴書の添削、面接練習、就職模擬面接会の実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格の取得			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
129 人	8 人	6.2%
(中途退学の主な理由) 実習や人間関係のトラブルによるモチベーション低下のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談や心理カウンセラーとの面談		

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	作業療法士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2024年度入学生 124 単位	40 単位	7 単位	3 単位	単位	単位
		2023年度入学生 124 単位	31 単位	5 単位	5 単位	単位	単位
		2022年度入学生 131 単位	0 単位	10 単位	20 単位	単位	単位
		単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		62 人	0 人	6 人	16 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業の終わりに5～10分程度で当日の授業の「理解度確認テスト(小テスト)」を実施し、その成績状況によって適宜クラス担任が個別に面談、学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 (100%)	0 人 ( %)	13 人 ( 61.9%)	8 人 ( 38.1%)
（主な就職、業界等） 総合病院、リハビリテーション病院、精神科病院、放課後等ディサービス 等			
（就職指導内容） 面接指導、履歴書添削、就職説明会の実施			
（主な学修成果（資格・検定等））等 作業療法士受験資格			



(備考) (任意記載事項)  
学科名変更のため、卒業者及び3年生、2年生の学科名称は「作業療法士科昼間部」である。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75人	9人	12%
(中途退学の主な理由) 病気、体調不良・進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任やカウンセラーによる個別面談の実施等		

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	介護福祉士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2024年度入学生 125 単位 2023年度入学生 125 単位	48 単位	10 単位	6 単位	単位	単位
			48 単位	10 単位	3 単位	単位	単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
144 人		104 人	54 人	5 人	28 人	33 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業の終わりに5～10分程度で当日の授業の「理解度確認テスト(小テスト)」を実施し、その成績状況によって適宜クラス担任が個別に面談、学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
48 人 (100%)	1 人 ( 2.1%)	44 人 ( 91.7%)	3 人 ( 6.3%)
（主な就職、業界等） 特別養護老人ホーム 老人保健施設 有料老人ホーム			
（就職指導内容） 合同就職説明会実施 面接指導 履歴書添削指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
94 人	4 人	4.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学費		
(中退防止・中退者支援のための取組) 面談の実施、保護者情報連携		

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
教育・社会福祉		専門	キャリアデザイン科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	2024年度入学生 36 単位	単位時間 19/単位	単位時間 16/単位	単位時間 1/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		36人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業の終わりに5～10分程度で当日の授業の「理解度確認テスト(小テスト)」を実施し、その成績状況によって適宜クラス担任が個別に面談、学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30人 (100%)	2人 ( 6.7%)	13人 ( 43.3%)	15人 ( 50%)
（主な就職、業界等） 製造業、飲食業			
（就職指導内容） 1人ひとりの個別に目標を設定し、認知特性や好き発見講座中心に、インターンシップや個別面談を通し、自分の合う業界を探し就職先に繋げた。			

(主な学修成果 (資格・検定等) )
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	3 人	9.1%
(中途退学の主な理由) 精神疾患を患い、学校へ登校することが困難な為。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人との面談や、カウンセラーとのカウンセリングや保護者、病院のドクター等と連携を取りながら進めていた。		

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	作業療法士科夜間部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2023年度入学生 124 単位	単位 31 単位 0 単位	単位 5 単位 10 単位	単位 5 単位 20 単位	単位 単位 単位	単位 単位 単位
		2022年度入学生 132 単位	単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		45人	0人	3人	12人	15人	
2024年度募集停止学科のため、2,3年次のみ在籍							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業の終わりに5～10分程度で当日の授業の「理解度確認テスト(小テスト)」を実施し、その成績状況によって適宜クラス担任が個別に面談、学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	34人 (94.4%)	2人 (5.6%)
(主な就職、業界等) 総合病院、リハビリテーション病院、精神科病院 等			
(就職指導内容) 面接指導、履歴書添削、就職説明会の実施			

(主な学修成果(資格・検定等)) 作業療法士受験資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85人	3人	3.5%
(中途退学の主な理由) 病気、家庭の事情等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任やカウンセラーによる個別面談の実施等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
社会福祉科	50,000 円	660,000 円	250,000 円	
心理カウンセラー科	50,000 円	790,000 円	250,000 円	
IT 医療 ソーシャルワーカー科	50,000 円	700,000 円	250,000 円	
こども保育科	50,000 円	730,000 円	250,000 円	
作業療法士科	350,000 円	1,100,000 円	480,000 円	
介護福祉士科	50,000 円	700,000 円	300,000 円	
キャリアデザイン科	50,000 円	700,000 円	365,000 円	
作業療法士科夜間部	200,000 円	900,000 円	430,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校 HP で公開している 掲載: <a href="http://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information/">http://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関係企業、卒業生、保護者、地域関係者、高等学校教員などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。 評価内容は理事会、学校運営会議などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉法人 事務長	2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日	卒業生代表
主婦	2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日	保護者代表
高等学校 教員	2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日	高等学校関係者
地域住民代表	2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日	地域関係者
社会福祉法人 施設長	2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日	業界関係者
就労移行支援事業所 施設長	2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日	業界関係者



児童養護施設 施設長	2023年4月1日～2025年3月31日	業界関係者
作業療法士会 事務局長	2023年4月1日～2025年3月31日	業界関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HPで公開している 掲載: <a href="http://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information/">http://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL: <a href="https://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information/">https://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information/</a>
---

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113312300174
学校名 (〇〇大学 等)	東京福祉専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 滋慶学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		74人	70人	78人
内訳	第Ⅰ区分	52人	43人	
	第Ⅱ区分	—	16人	
	第Ⅲ区分	—	11人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				78人

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期	
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	－	0人	－	－
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	－	－	－
「警告」の区分に連続して該当	－	0人	－	－
計	－	－	－	－
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	－
3月以上の停学	0人
年間計	－
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修得単位数が標準単位数の6割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下）	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	—	0人	0人
計	—	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。